2026年08月・09月
イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

半数近くが選考過程で「家族構成」について聞かれた経験あり

株式会社アイデム　人と仕事研究所

(c) AIDEM Inc.

調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2026/08/01～2026/09/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- 2026/08/02～2026/10/05 （65日間）

調査方法

- インターネットリサーチ

有効回答数

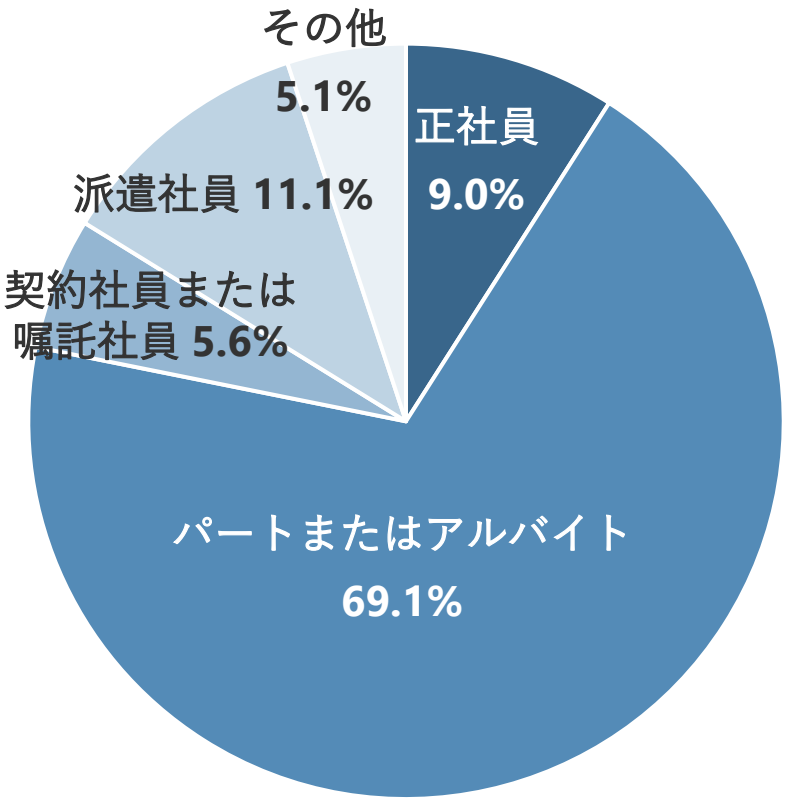
- 531件

※調査結果は四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります

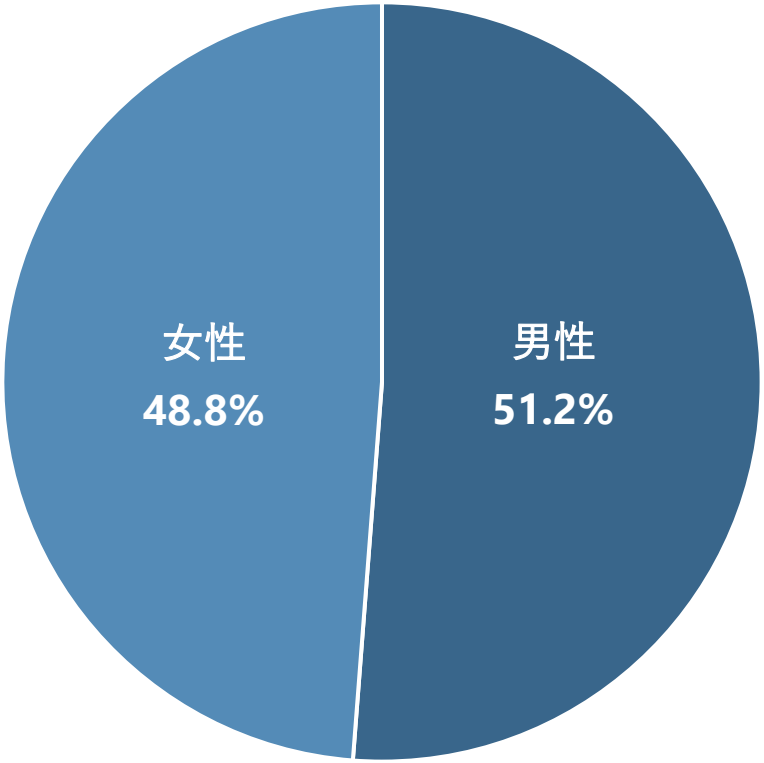
(c) AIDEM Inc.

回答者プロフィール

希望する雇用形態



性別



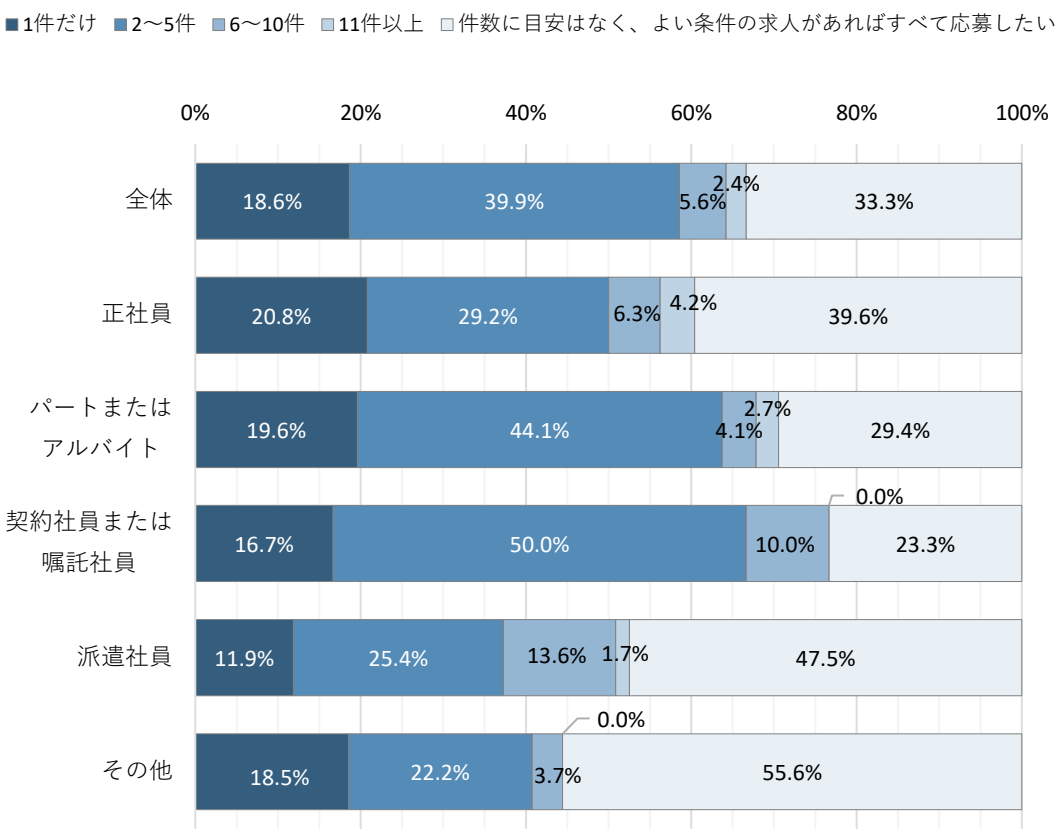
(c) AIDEM Inc.

応募件数の目安

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかをきいた。全体では「2〜5件」が最も多く39.9%、次いで「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」が33.3%、「1件だけ」が18.6%、「6〜10件」が5.6%、「11件以上」が2.4%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の81.4%で、複数件の応募を視野に入れている人が大半を占める。

希望雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」が39.6%で、全体を6.3pt（ポイント：以下同）上回った。応募件数に目安を設けないことで、条件に合う求人を幅広く検討しているのかもしれない。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



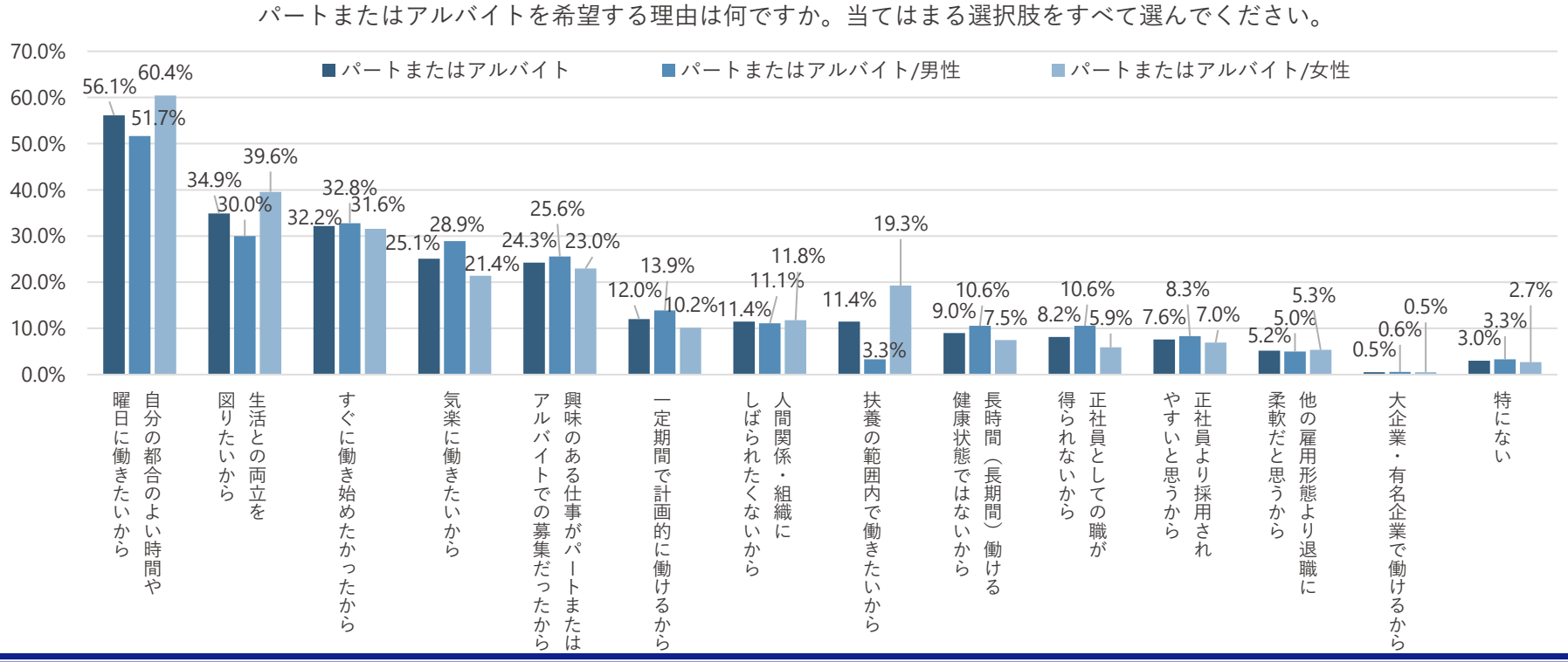
(c) AIDEM Inc.

パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で56.1%、次いで「生活との両立を図りたいから」が34.9%、「すぐに働き始めたかったから」が32.2%となった。勤務時間や曜日の柔軟性、私生活との両立を重視していることがわかる。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が7.5pt高かった。気持ちの面で負荷が少ない働き方を求める人が一定数いるようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が16.0pt、「生活との両立を図りたいから」が9.6pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が8.7pt高くなった。女性では、扶養の範囲や生活との両立、勤務時間・曜日の柔軟性を重視する割合が男性より高かった。



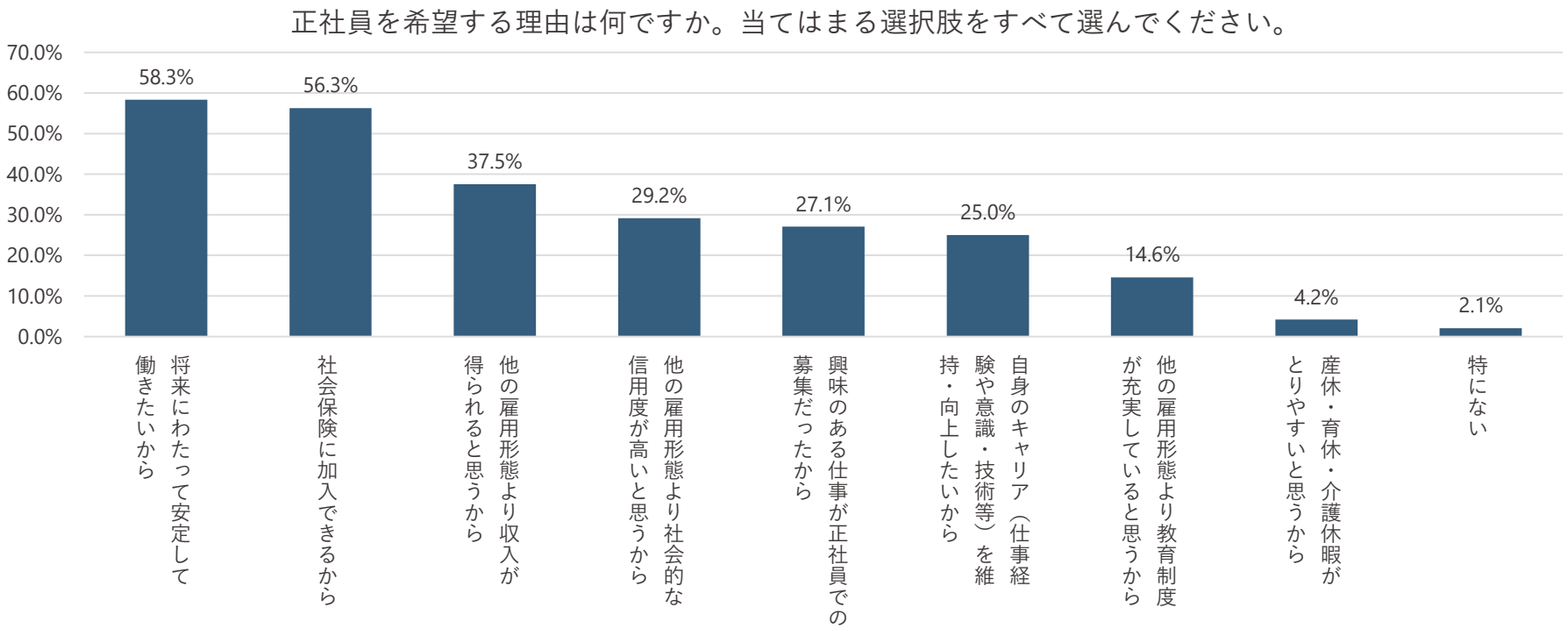
イーアイデム会員アンケート （2026年08月・09月調査）

(c) AIDEM Inc.

正社員を希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。

最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が58.3%、次いで「社会保険に加入できるから」 が56.3%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が37.5%となった。長期的な雇用の安定とともに、収入や社会保険といった生活基盤を重視していることがわかる。「特にない」を選んだ割合は2.1%で、大多数は明確な理由をもって正社員雇用を希望している。正社員という働き方を、将来への安心や生活の安定を支えるものとして捉えていることがうかがえる。



(c) AIDEM Inc.

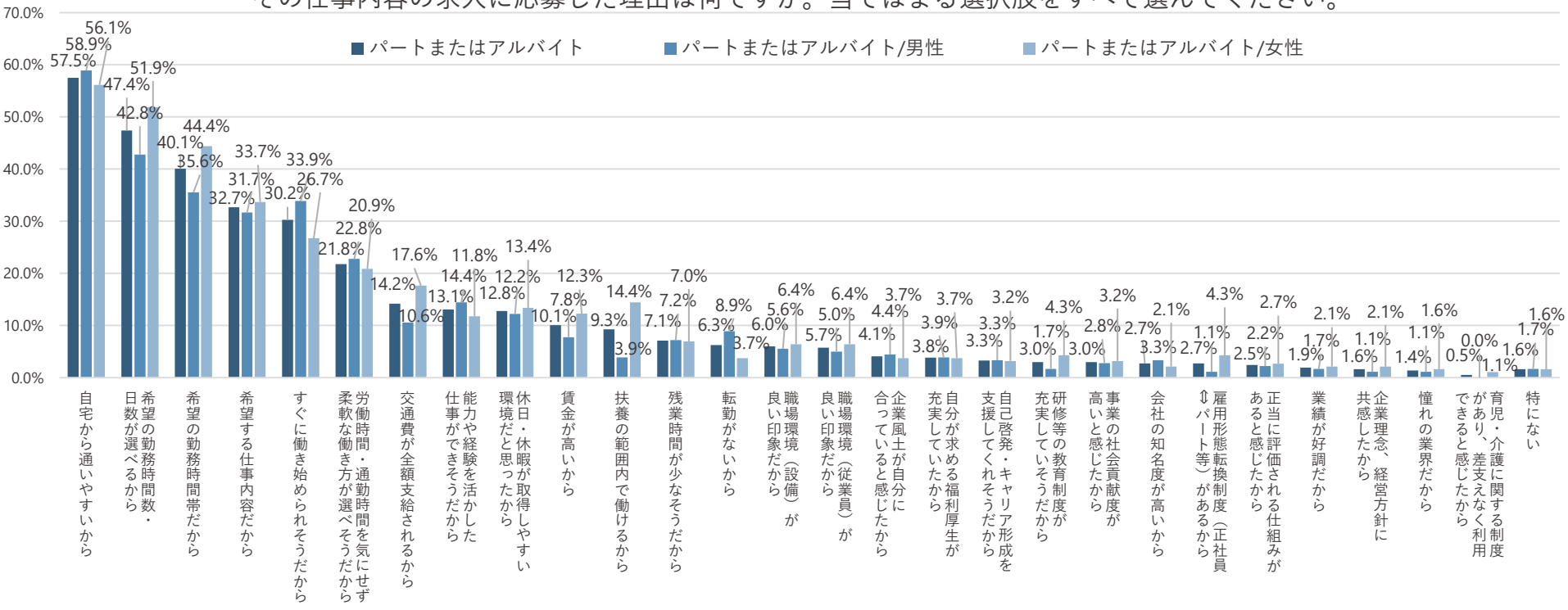
求人に応募した理由（パートまたはアルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で57.5%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が47.4%、「希望の勤務時間帯だから」が40.1%となった。応募先の選択においては、通勤利便性に加えて、働く時間や日数に関する柔軟性が重要な判断基準となっているようだ。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が7.2pt、「転勤がないから」が5.2pt高くなった。パート・アルバイトで就業したい男性にとっては、業務開始のタイミングが早いという理由が応募先を選ぶうえで比較的重要な要素になっているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が10.5pt、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が9.1pt、「希望の勤務時間帯だから」が8.8pt高くなった。女性では、扶養の範囲や勤務時間・日数に関する項目の回答割合が男性より高く、働き方の柔軟性を重視する傾向がみられた。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



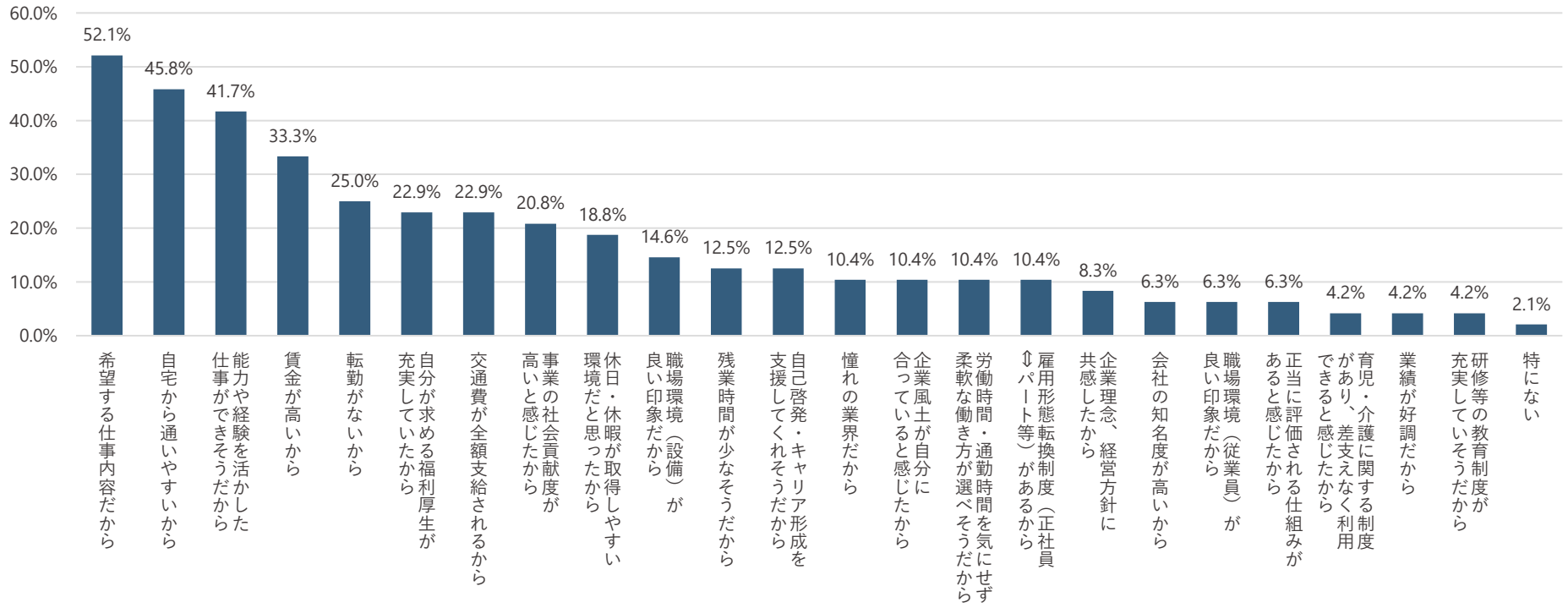
(c) AIDEM Inc.

求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。

最も多かったのは「希望する仕事内容だから」が52.1％、次いで「自宅から通いやすいから」が45.8%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が41.7％となった。仕事内容や、これまで培ってきた能力・経験との適合性が、応募先を選ぶ際の重要な判断材料になっていることがわかる。「賃金が高いから」が33.3％、「転勤がないから」が25.0％、「福利厚生が充実していたから」と「交通費が全額支給されるから」がともに22.9％となっており、待遇や働きやすさも重視されているようだ。 具体的な仕事内容や活かせる能力・経験に加え、賃金、転勤の有無、福利厚生などの条件を明確に示すことが、応募検討の後押しにつながると考えられる。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(c) AIDEM Inc.

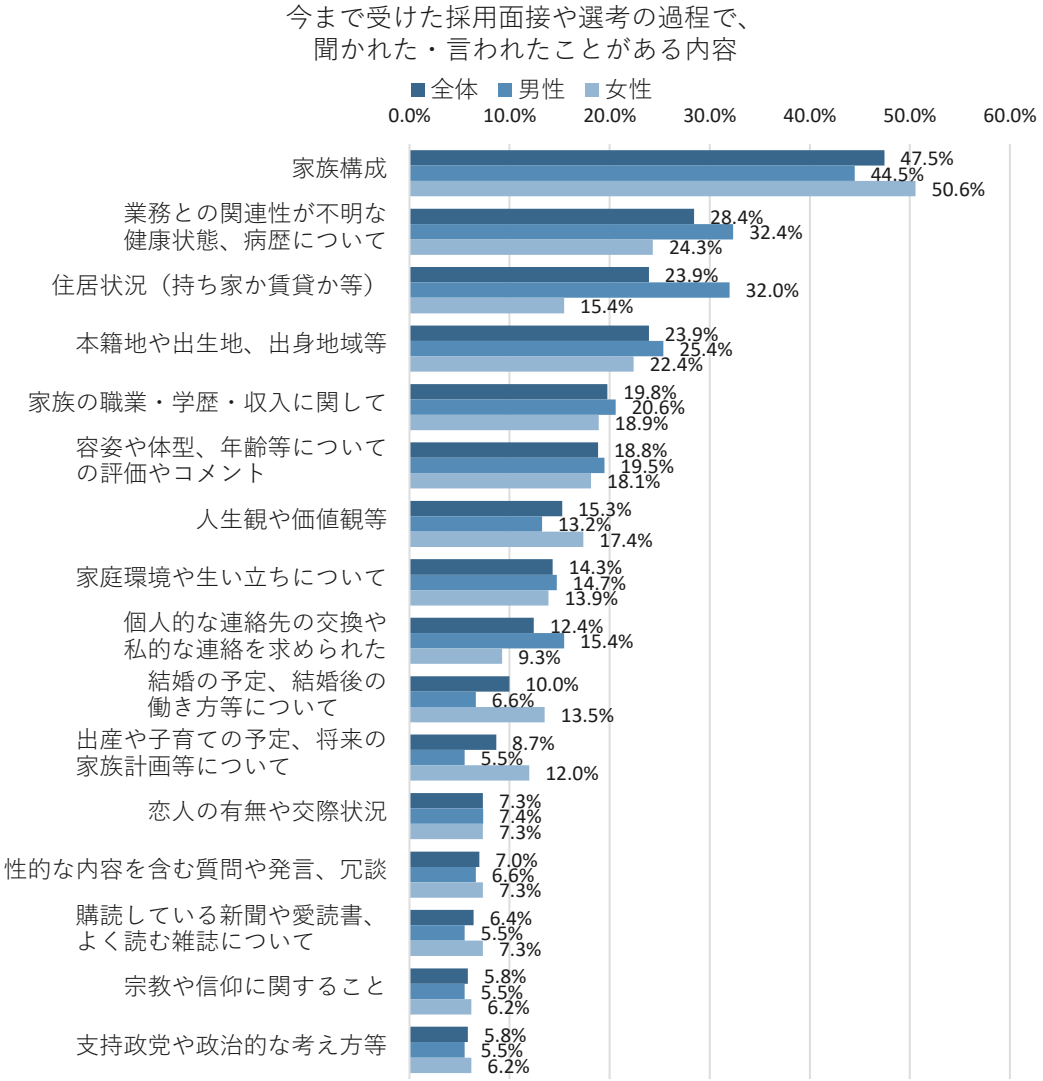
選考過程で聞かれた・言われたことがある内容

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今まで受けた採用面接や選考の過程で、企業から聞かれたり言われたりしたことがある内容についてきいた（複数回答）。全体では、「家族構成」が47.5％と最多となり、次いで「業務との関連性が不明な健康状態、病歴について」が28.4％、「住居状況（持ち家か賃貸か等）」と「本籍地や出生地、出身地域等」が23.9％となった。

性別との関係をみると、男性では女性よりも「住居状況」が16.6pt、「業務との関連性が不明な健康状態、病歴について」が8.1pt、「個人的な連絡先の交換や私的な連絡を求められた」が6.1pt高くなった。一方、女性では男性よりも「結婚の予定、結婚後の働き方等について」が6.9pt、「出産や子育ての予定、将来の家族計画等について」が6.5pt、「家族構成」が6.1pt高くなった。

今回の調査では、本人の適性・能力との関連が乏しく、就職差別につながる恐れのある事項を選考過程で尋ねられた経験が一定数みられた。企業は求職者に対するハラスメントの防止に加え、質問を職務上必要な範囲に限定し、公正な採用選考を徹底することが求められる。

参考サイト：公正な採用選考の基本 | 厚生労働省



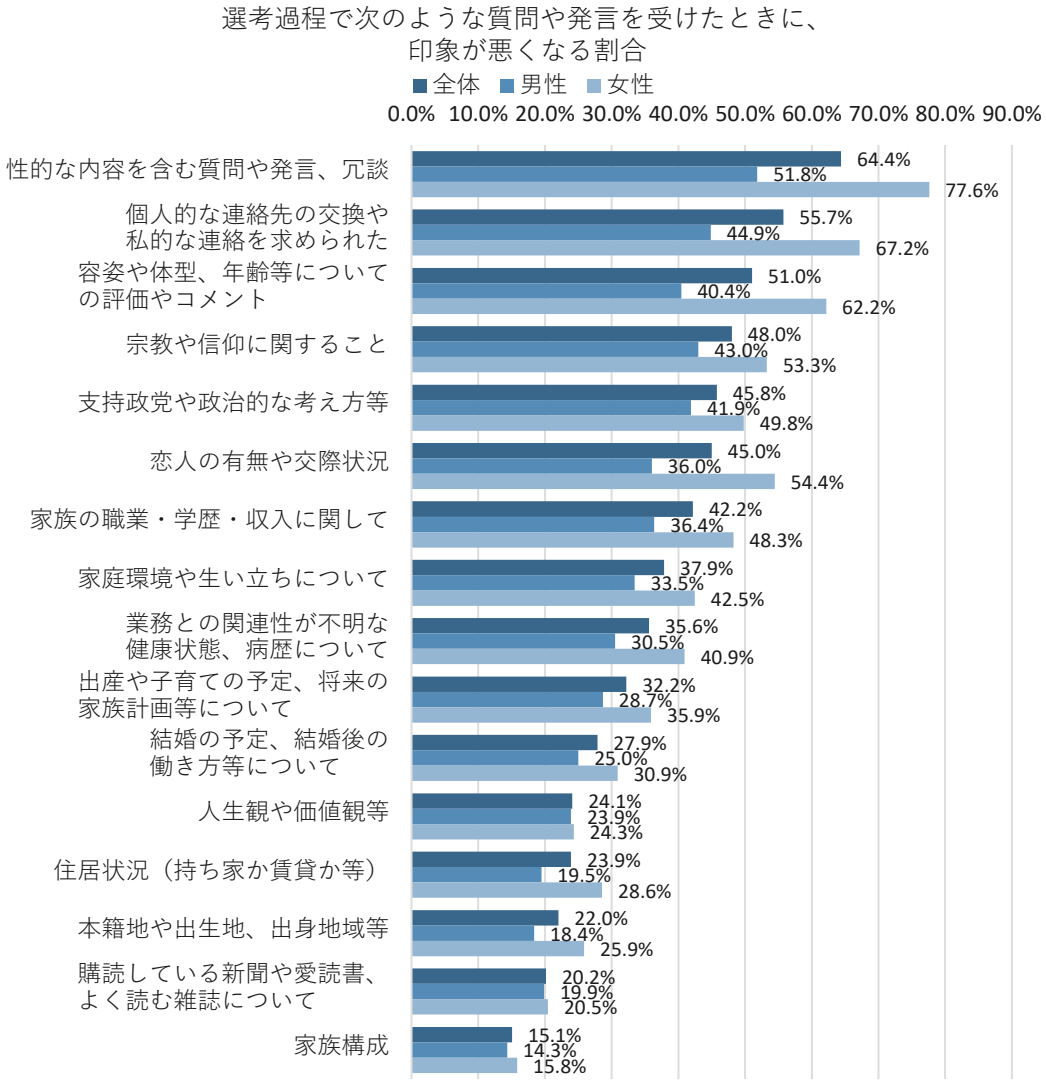
(c) AIDEM Inc.

選考過程で印象が悪くなる企業からの質問・発言

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、選考過程における企業からの質問や発言で印象が悪くなる項目についてきいた（複数回答）。全体では、「性的な内容を含む質問や発言、冗談」が64.4%で最も高く、次いで「個人的な連絡先の交換や私的な連絡を求められた」が55.7%、「容姿や体型、年齢等についての評価やコメント」が51.0%となった。

性別との関係をみると、女性はいずれの項目も男性よりも印象が悪くなる割合が高くなった。特に「性的な内容を含む質問や発言、冗談」は25.8pt、「個人的な連絡先の交換や私的な連絡を求められた」は22.3pt、「容姿や体型、年齢等についての評価やコメント」は21.8pt、男性よりも高くなった。

企業は、採用選考時にアイスブレイクまたは、良かれと思ってこれらの内容を尋ねてしまうことがあるが、「職務遂行上必要な内容なのか」を意識して質問・発言することが大切である。あわせて、不適切な質問を防ぐための教育と相談体制の整備も求められる。



(c) AIDEM Inc.